
情報格差

国、地域、個人などあらゆる情報がデータとして共有され、市民が自由に閲覧できる環境が整うことが予想されます。一方で、情報漏洩のリスクも高まることから、情報を守りながら効果的に活用する方法を考える必要があるかもしれません。

No.770 / ヒント: 情報格差×高度な移動

いつでもどこでも現場をチェック

インフラの老朽化箇所などはじめ、実際に現場に行かなければ見えない・わからないことを、各地に配備した小型ロボットが自動チェックしてくれる。

背景: トンネルの天井の崩落、ブロック塀の崩壊など、通常予測できない事態により人的被害が発生している。

効果: 損傷などに気づくのが遅れ、物的・人的被害が起こることを未然に防ぐ。また現場に行く時間・手間が省け、他の作業に時間を割くことができ、仕事の効率化につながる。

No.771 / ヒント: 情報格差×教育の高度化

教育のオンラインインフラ整備による教育格差解消

能力に応じた教育システムや、誰もが優秀な教師の教育をオンラインで受けることができるようになるため、教育格差が解消される。

背景: 教師の力量や同級生の学力により教育格差が生まれている。

効果: 都会にいらなくても高度な教育を受けることができるため、田舎の価値が向上する。

No.772 / ヒント: 情報格差×エンタメ

情報格差がなかったら、映画作り

情報格差によって生じる、問題をリアルに描く映画を作る。

背景: 全国で流されれば、情報格差に問題意識をもつ若者は増えていく。

効果: 危機意識をもった、若者が増えて行けばこの情報格差に対して動き始める若者が増えていく。

No.773 / ヒント: 情報格差×高度な配送・転送

情報の全データ化

紙媒体の情報がなくなり、すべてデータ化される。

背景: 紙の情報の場合、情報が多すぎると探すのに時間と手間がかかる。

効果: すべての情報がデータ化されることで情報伝達スピードも上がり、効率的な仕事につながる。残業も少なくなる。

No.774 / ヒント: 情報格差×念力

脳内ネットワーク

念じることで自分の知っている情報がどっかのサーバーに自動アップロードされる。アップロードされた情報は会員なら誰でも閲覧可。

背景: 情報格差が簡単に縮まったらいいなと思ったから。

効果: 情報格差がなくなる。

No.775 / ヒント : 情報格差×AI の発展

全国統一情報試験

すべての人に情報試験を受けてもらい、自分が持っている情報の大小のフィードバックを受けてもらう。成績が低い人は情報講習を受ける。

背景：未来では情報格差が大きな問題となる。

効果：自分の持っている情報量が全国的に見て多いか少ないかを判断でき、情報格差を自覚できる。

No.776 / ヒント : 情報格差×宇宙進出

タンバグリフの作成

丹波の情報を図形で記した「タンバグリフ」を作成して宇宙に飛ばす。

背景：宇宙への輸出が簡単にできるようになる。

効果：宇宙人が拾ってくれたら、宇宙人はまず最初に丹波地域に降り立ってくれる。

No.777 / ヒント : 情報格差×情報漏洩

絶対セキュリティ都市丹波

情報漏洩に対してのセキュリティを絶対的に強化することで、丹波地域には何か重大な情報が隠されているのではないかと外部に認知させる。

背景：未来では情報漏えいの危険から情報セキュリティについての価値が高まる。

効果：ハッカーたちの標的になるが、逆にハッカーを招き入れることができれば強い味方として活躍してもらえる。

No.778 / ヒント : データの価値向上

AI に対しての秘密保持

丹波地域の、クリエイティブに関するデータはすべて秘密にする。これにより、丹波地域の情報はAIによって分析されることがなくなる。

背景：AI はデータを収集して成長する。データは人間が与える。

No.779 / ヒント : 情報格差×全自動化

足りない知識を補う AI による情報格差の解消

自分に必要な情報を自動で知ることができ、情報格差はなくなる。田舎の丹波地域における情報格差問題は解消される。

背景：未来では情報は自分で調べるのではなく与えられる時代になる。

No.780 / ヒント: 情報格差×死後の世界

情報の再分配

お金の再分配ではなく情報の再分配が行われ、情報格差がなくなる。

背景: 「お金は天国に持っていけない」に代わって「情報は天国に持っていけない」という言葉が流行る。

No.781 / ヒント: 情報格差×キャッシュレス

情報取得のために利用できる仮想通貨の発明

持っている情報が少ない人にたいして、情報取得のためだけに利用できる仮想通貨が発明され、丹波地域と都会の情報格差が少なくなる。

背景: 個人が持っている情報量を定量化できる。

No.782 / ヒント:

カードの一元管理

クレジットカードや免許証、取得した資格などあらゆる情報がカード1つで管理できるようになる。

背景: マイナンバーカードにあらゆる情報が紐付けられる。

No.783 / ヒント:

オンライン選挙

移動が困難な高齢者や、選挙に興味のない若者向けにオンラインでの選挙ができるようになる。

背景: 選挙への投票がオンラインでできるようになる。

No.784 / ヒント:

丹波 API の開発

自治会の統計データや、イベント情報、組織情報などあらゆる情報がオープンとなり、それらを取得し再活用するためのAPIが開発される。

背景: あらゆる情報のオープンソース化やAPI化が推奨されるようになる。

No.785 / ヒント: 情報格差×高度な移動

高度情報都市丹波

丹波地域はあらゆる高度な情報技術を有しておき、高度な情報処理能力がない人しか住めないようにする。

背景: 田舎=情報がない、という格差が生まれる可能性がある。

No.786 / ヒント : 情報格差×エンタメ

AI と戦う高齢者クイズ

高齢者しか持っていないような丹波地域の歴史文化に関わるクイズをもって AI と戦わせる。

背景 : AI が賢い、というイメージが世の中に蔓延る。

No.787 / ヒント : 情報格差×全自動化

ひらめき補助

あとちょっとで何か生まれそう、というときに「これです」と的確なひらめきのヒントを与えてくれる機械が登場する。

背景 : AI の発展に伴って人のサポートを全自動で行ってもらえるようになる。

No.788 / ヒント : 情報格差×田舎の概念が変わる

情報遮断都市丹波

丹波地域では外部との情報を一切遮断する。

背景 : 情報過多により人間の本来持つ良さが失われる。

No.789 / ヒント : 情報格差×言語の壁

原住民が住む町丹波

言語の壁が取り除かれた世界であえて丹波地域は翻訳機などを使わずに今のままのカタコト英語コミュニケーションを推進していく。

背景 : 未来では言語の壁が取り除かれる。

No.790 / ヒント : 情報格差×趣味で生きていける

趣味特化情報共有地域

丹波地域では自然や歴史文化にまつわる趣味の知識が豊富な人を集めて、趣味特化情報共有地域として活性化させる。

背景 : 情報過多により、人が得る情報には偏りが生じる。

No.791 / ヒント : 情報格差×念力

思念情報インプット

思念による情報のインプットが可能になることであらゆる情報を効率よく知ることができる。

背景 : 情報は目や耳で記憶する以外の方法で得ることができるようになる。

No.792 / ヒント: 情報格差×キャッシュレス

情報仮想通貨

情報を共有することで得られる仮想通貨が登場し、丹波地域では率先して情報提供を行い、情報仮想通貨を獲得する。

背景: 情報に対しての価値が高まり、それに伴い仮想通貨が登場する。

No.793 / ヒント: 情報格差×教育の高度化

情報教育の必須化と高度化

丹波地域では情報教育を必須にして、情報の取り扱いに関するプロフェッショナルを育成する。

背景: 情報のとり方によって情報格差が生まれるため、情報についての教育の価値が高まる。

No.794 / ヒント: 情報格差×AI問題

AIに操られない地域丹波

AI問題についていち早く解明し、その危険性をしっかりと認知した上でAIにいいように使われない丹波地域の構築を目指す。

背景: AIに頼った人間たちはやがてAIによって操作されるようになる。

No.795 / ヒント: 情報格差×大災害

大災害対策秘密結社本部

丹波地域はもともと災害に強い地域だが、その理由を「大災害対策秘密結社本部」があらゆる対策をしているからだと言っていることで、丹波地域に興味を持つ人が増える。

背景: 丹波地域はそもそも災害に強い。

No.796 / ヒント: 情報格差×戦争

戦争が起こっているなんて知らなかった

丹波地域は情報に疎いというイメージをもたせ、都合のいい情報だけを得るような仕組みを作ることで、戦争を回避する。

背景: 田舎＝情報に疎い、というイメージを良いことに使う必要がある。

No.797 / ヒント: 情報格差×格差社会

格差に左右されない地域丹波

丹波地域はただひたむきに「幸せとは何か」について考える地域であり、格差とかはそもそもどうでもいい。なぜなら幸せは個人の考え次第だから。

背景: 格差というのは相対的に見た時に初めて生まれるものである。

No.798 / ヒント : 情報格差×職がなくなる

好きな情報で生きていく

自分の取捨選択で好きな情報だけ得て生きていけるようになるので、情報格差がそもそも問題ではなくなる。

背景 : 「好きなことで生きていく」ことができるように、「好きな情報で生きていく」ことができる。

No.799 / ヒント : 情報格差×移民

情報ヴィーガン特区

できる限り情報を得ずに生きていく「情報ヴィーガン」という生き方が世界的に流行するので丹波地域はその特区としてPRしていく。

背景 : ヴィーガンの情報版が登場する。

No.800 / ヒント : 情報格差×AIの発展

AI学習塾

AIのことを学べる学習塾をどこよりも早く設立し、未来に備える。

背景 : AIを学ぶことは未来において最大の武器となる。

No.801 / ヒント :

3日仕事4日勉強 (デジタル)

仕事をしながら新しいデジタル。

No.802 / ヒント :

デジタル上下関係

デジタルに親しんでいけばいるほど偉い。という風潮に。

No.803 / ヒント : 情報格差×電脳空間

個人の電脳空間の所有による情報格差

電脳空間が構築され自分の電脳空間を持っていない人と持っている人との情報格差が生まれる。

No.804 / ヒント : 情報格差×格差社会

情報価値の向上による情報格差

情報が一番の世界になり情報を持っていない人との格差が広がる。

No.805 / ヒント:

全員知り合いデータベース

個人間の関係をすべてデータベース化し、全員が知り合いだとわかるようになる。

No.806 / ヒント: 情報格差×田舎の概念が変わる

情報鎖国

丹波地域を外部からの情報を遮断する情報鎖国にする。

No.807 / ヒント: 情報格差×情報漏洩

情報銀行

情報を安全に守るための情報銀行を作る。